

勉誠社

訓点語学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品 **20%OFF**

割引クーポンコード: **3740a2150f**

(使用期限: ~2024年7月31日)

謹啓

日頃より弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠社・勉誠出版タイトル全品が対象となります。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- 弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。

ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: **3740a2150f** (使用期限: ~2024年7月31日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください!

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費/私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。

- 3000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス**

(※ 3000円未満の場合は送料一律 300円。なお日本国外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
訓点語学会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



湯沢質幸 [著]

日本人は 漢文を どう読んだか 直読から訓読へ

日本において古代から現在に至るまで
延々と読み継がれてきた漢文。

その読み方には中国から渡来した中国音で読む〈直読〉、
そして、平安時代に生まれ、

漢文読解の方法としてその地位を確立した〈訓読〉の
二種類が存在する。

しかし、古代から現代までの間に〈直読〉は消え、
日本語で読む〈訓読〉がもっぱら使われるようになった。

なぜ、日本では〈訓読〉優位の状況が生じたのか――
漢文を取り巻く環境を一つ一つ分析することを通して、

〈直読〉から〈訓読〉への変化を追い、
日本人の漢字漢文受容の歴史を描きます。

目次

本書の目的

凡例

第一章 直読と訓読

――現代と平安時代――

第二章 平安時代儒学界の直読と訓読

――『宇津保物語』と『北山抄』『江家次第』――

第三章 〈直読から訓読へ〉

――直読の衰退――

第四章 平安時代の訓読

――『白氏文集』――

第五章 『宇津保物語』併存の再検討

第六章 平安時代儒学界と直読

第七章 儒学界と仏教界

第八章 〈直読から訓読へ〉の周辺

結語／参考文献／後記

執筆者紹介

湯沢質幸 (ゆざわ ただゆき)

一九四三年群馬県前橋市生まれ。

専門は日本語史研究。

東京教育大学文学部研究科修士課程修了。

博士(文学)筑波大学。佐伯国語学賞。山

形大学・筑波大学・京都女子大学に勤務。

著書に『唐音の研究』(勉誠社、一九八七

年)、『日本漢字音史論考』(勉誠社、一九

九六年)、『古代日本人と外国語』(同増

補改訂) 勉誠出版(二〇一一年)、『音声・

音韻探求法』(松崎寛と共著、朝倉書店、

二〇〇四年)、『近世儒学韻学と唐音』

(勉誠出版、二〇一四年)、『漢字は日本で

どう生きてきたか』(開拓社、二〇一七

年)などがある。

定価 3,520 円(本体価格 3,200 円)

四六判・並製カバー装・240頁
ISBN978-4-585-38006-1 C1081
2024年5月刊行

書名	部数
日本人は漢文をどう読んだか 直読から訓読へ 湯沢質幸 [著]	部
定価 3,520 円(本体 3,200 円) 四六判・並製カバー装・240頁 ISBN978-4-585-38006-1 C1081 2024年5月刊行	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

本書の目的
凡例

第一章 直読と訓読―現代と平安時代―

- 1 現代の直読と訓読
- 1-1 直読〔中国語文・字音声読〕
- 1-2 訓読〔日本語訳文・直訳文・日本語音声読〕
- 2 平安時代の直読と訓読
- 2-1 直読〔中国後古典文・漢文・呉音漢音声読〕
- 2-2 訓読〔日本語訳文・直訳文・日本語音声読〕
- 3 現代と平安時代
- 4 平安時代儒学界

第二章 平安時代儒学界の直読と訓読

- 1 『宇津保物語』と『北山抄』『江家次第』―
- 1-1 『宇津保物語』講書における直読と訓読
- 1-2 「手づから点し」―加点者仲忠―
- 1-3 「果てに、一度は訓、一度は音に読ませたまひて」―解義後の声読―
- 1-4 「読む」の意味
- 1-5 『宇津保物語』の情報―直読訓読併存等―
- 2 『北山抄』『江家次第』積算における直読と訓読
- 2-1 『北山抄』
- 2-2 『江家次第』
- 2-3 積算での直読訓読併存
- 3 『宇津保物語』と『北山抄』『江家次第』―併存―
- 3-1 『宇津保物語』の併存
- 3-2 『北山抄』『江家次第』の併存

第三章 〈直読から訓読へ〉―直読の衰退―

- 1 直読消滅の時期
- 1-1 直読の儒書
- 1-2 漢音加点『蒙求』
- 1-3 唐音直読論
- 2 直読消滅の原因と過程―外因説―
- 2-1 直読消滅と日中関係―遣唐使廃止―
- 2-2 直読消滅と朝廷・大学寮の衰退
- 2-3 外因説の可能性と限界―内因説の検討―

第四章 平安時代の訓読―『白氏文集』―

- 1 『白氏文集』『新楽府』『海漫々』
- 2 直読の可能性
- 3 訓読と訳読との比較
- 4 訓読と訳読(1)―文・声読―
- 4-1 文
- 4-2 声読
- 4-3 相違と情報
- 5 訓読と訳読(2)―文・声読以外―
- 5-1 紙面における相違
- 5-1-1 呈示場所
- 5-1-2 呈示方法
- 5-1-3 呈示における相違と情報
- 5-2 補読

6 訓読と訳読(3)―補読―

- 6-1 『訓読文』の補読
- 6-1-1 漢字
- 6-1-2 送り仮名―「無ク・最モ・深キ」―
- 6-2 補読使用語選択の実際
- 6-2-1 漢字―「海」「漫々」―
- 〔コラム〕儒書呉音使用
- 6-2-2 送り仮名―「無ク・深キ」―
- 6-3 補読における訓読と訳読
- 6-4 無加点の理由―失念説と委託説―
- 6-5 補読と文の完成・声読
- 6-6 声読における訓読と訳読
- 6-7 補読における相違と情報
- 7 訓読と訳読(4)―文再生における複雑さと労力―
- 8 直読と訓読
- 8-1 文
- 8-2 声読
- 8-3 直訳文呈示場所等
- 8-4 補読
- 9 再度『宇津保物語』へ

第五章 『宇津保物語』併存の再検討

- 1 訓読先行・直読後行
- 2 訓読先行Ⅱ訓読優先
- 3 訓読優先Ⅱ解義重視
- 4 加点漢文における併存―加点漢文化即訓読―
- 5 訓読先行と天皇
- 6 直読先行・訓読後行
- 7 加点漢文併存における訓読優先(1)
- 8 加点漢文併存における訓読優先(2)
- 9 末尾直読の消滅―加点漢文における直読―
- 9-1 末尾直読の存在価値
- 9-2 末尾直読の存在理由
- 9-3 末尾直読の消滅理由
- 10 漢文読解の目的と直読
- 11 〔一表記、一文、一読〕と末尾の直読
- 12 直読の全面的消滅―加点漢文から漢文全体へ―
- 〔コラム〕訓点(封印)
- 13 『北山抄』『江家次第』の併存―直読先行・訓読後行―

訓読と訳読・直読の比較再考

- 第六章 平安時代儒学界と直読
- 1 朝廷・大学寮の衰退と漢音直読
- 2 大学寮衰退
- 2-1 大学寮焼失
- 2-2 家学化
- 2-3 明経家の音博士吸収
- 3 大学寮衰退からの説明の限界
- 4 音道・音博士の消滅
- 5 鎌倉時代の音道・音博士
- 6 鎌倉時代の武家と直読
- 7 儒学界での直読消滅

第七章 儒学界と仏教界

- 1 共通点
- 2 相違点
- 2-1 直読一部残存と完全消滅
- 2-2 訓読成立時期の遅速
- 2-2-1 奈良時代直読における両界の相違
- 2-2-2 儒学界訓読成立の時期
- 2-2-3 訓読成立後―直読消滅時期の遅速―

第八章 〈直読から訓読へ〉の周辺

- 1 直読の新生
- 1-1 唐音直読
- 1-1-1 近世唐音
- 1-1-2 唐音直読と呉音漢音直読
- 1-1-3 唐音直読と寛政異学の禁
- 〔コラム〕直読論の誤解と限界
- 1-2 現代中国字音直読
- 1-3 新来字音直読の定着
- 1-4 新音直読と訓読
- 1-5 訓読は国風文化
- 2 訓読の先駆け―加点漢文の土台―
- 2-1 変体漢文―『古事記』―
- 2-1-1 『古事記』と『訓読文』
- 2-1-2 補読
- 2-1-3 日本語文呈示における変体漢文
- 2-1-4 外国語文と複数の翻訳文
- 2-1-5 変体漢文の声読
- 〔コラム〕書き下し文
- 2-1-6 変体漢文と加点漢文・漢文
- 2-1-7 変体漢文と加点漢文―「訓読」と訓読―
- 2-1-8 宣命書き文―『続日本紀』―
- 2-2 万葉仮名文―『万葉集』―
- 2-3 訓読の先駆け
- 3 朝鮮の「訓読」

結語

参考文献
後記

永平廣録大全

えいへいこうろく・たいぜん

『祖山本 永平廣録』訓読・訳註・補注参究 ならびに解題・関連資料集成

道元禅師の演法説示が収録されている『永平廣録』。道元の死後、門下の真摯な従者たちによって編集された『永平廣録』は伝統的な禅の語録の形態をとり、漢文体によって構成されている。本書では、原本『祖山本 永平廣録』（全十巻）の正確な「訓読」と「訳」を提供する。また、その語句に対する「語義注釈」、「出典考証」、各項の解説、さらに語義の詳細にわたる「補注参究」、本書に関連する「基本的原典」等の関連書ならびに関連項目の小論・解題等も収載した決定版。

{ 呈・内容見本 }

詳細情報を掲載した
パンフレットをご用意しております

定価 71,500円(税込)

本体65,000円(+税)

2023年11月刊行

B5判・上製・全八巻(分売不可)・総3,000頁超

ISBN978-4-585-31017-4 C3015

本書の特徴

- 原文テキストと、その訓読・訳・語義・出典考証・補注参究を収録。
- 原典に忠実な正確な訓読を提供。禅門の慣習を考慮し、古来の訓み・言い回しを記載。漢字は当用漢字・総ルビ、現代仮名遣いとした。引用・会話文は「」・「」も併用した。
- 理解を助ける現代語訳を掲載。
- 「語義」では、難解な語句・仏教用語・公案の類を注釈。僧名は、その生卒年代と師資関係を掲載。
- 「出典考証」では、収録された成語の出典を考証。道元が披見しうる妥当性、「永平廣録」本文との総合的な検証から出典を採択した。
- 補注参究では、「語義」に挙げられた項目をより深い考察を加える。
- 最終巻に最終巻には「祖山本 永平廣録」全原典を掲載。欠損字は他のテキストを参照した補った。
- 各項目には通し番号を付し、訓読・訳・語義・出典考証・補注参究などの項目間を参照する際の便を図った。

大谷哲夫

〈編著〉

編著者紹介——一九三九年東京都生まれ。早稲田大学一文・同大学院修了。駒澤大学大学院満期退学。曹洞

宗僧侶(市ヶ谷長泰寺住職)・仏教学者(専門は禅)。駒澤大学元総長(第二十八代)・駒澤大学元学長(第二十九

代)・都留文科大学元理事長・東北福祉大学前学長。主要著書に、『道元 永平広録 上堂』選(講談社学術文庫、二

〇〇五年)、『道元 宝慶記』(講談社学術文庫、二〇一七年)など多数。

書名

永平廣録大全 大谷哲夫〈編著〉

『祖山本 永平廣録』訓読・訳註・補注参究
ならびに解題・関連資料集成

冊数

定価 71,500円(税込)

本体65,000円(+税)

2023年11月刊行

B5判・上製・全八巻(分売不可)・総3,000頁超

ISBN978-4-585-31017-4 C3015

冊

ご送付先ご住所(通信欄)

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 <http://bensei.jp/>

国宝「三十帖冊子」

さんじゅうじゅう
さうし

修理から見えてきたもの

最新の仏教学を学ぶために唐に渡った弘法大師空海が、当地の仏教經典・儀軌類を書写し、日本に隨身秘蔵してきた冊子本、国宝「三十帖冊子」。第六世守覚法親王の時代より京都・仁和寺にて尊ばれ、伝持されてきた同書は、空海の入唐中の学問のありかたを伝える密教将来の至宝として、また、空海や橘逸勢ほか、多くの唐の写経生がその書写に関わり、かつ冊子のかたちとして最も古い装訂とされる粘葉装（ちりょうそう）の日本最古の例として、文化財としても特筆すべき意義を有している。

国宝「三十帖冊子」は、どのように守られ、伝えられてきたのか。

六か年の歳月をかけて行われた修理の全容と、それによって見えてきた新知見を多くのカラー図版とともに紹介。さらには、「三十帖冊子」の伝来と流転、奈良朝經典訓読や漢籍訓読の諸問題、空海の学問と書、高解像度デジタル顕微鏡による料紙分析と写本学とのコラボレーション、文化財修理のこれまでとこれから等、多角的な観点から「三十帖冊子」を把握する決定版。

掲載図版点数三〇〇点超！

刊行にあたって 総本山仁和寺門跡真言宗御室派管長 瀬川大秀
序言——本書の概要 宇都宮啓吾

第一部 修理・書誌篇

国宝「三十帖冊子」修理報告——修理の概要と調査報告 株式会社松鶴堂
「三十帖冊子」の修理を振り返って 株式会社松鶴堂（書跡担当課 森川洋子）
「三十帖冊子」の料紙に残された痕跡の伝えるもの
——保存修理の視点から 鈴木裕
装訂や料紙から見た国宝「三十帖冊子」 赤尾栄慶
コラム 空海の書——唐からの贈り物 銅島稲子
「三十帖冊子」を飾る染織品 山川曉
料紙を観る——写本学と光学的調査からのアプローチ
——石塚晴通・赤尾栄慶・江南和幸・岡田至弘
コラム 文化財情報のプラットフォーム
——金剛寺蔵「梵漢普賢行願讚」をめぐる 宇都宮啓吾

第二部 典籍篇

「三十帖冊子」の借覧と返納をめぐる 武内孝善
「三十帖冊子」の仁和寺移動と仁和寺伝持の歴史 朝川美幸
空海将来経論の書写をめぐる
——「三十帖冊子」に関連して 苦米地誠一
仁和寺蔵「三十帖冊子」の訓点から
観た漢籍訓読の一問題 宇都宮啓吾
典籍保存修理の歩み——昭和から令和へ 鈴木裕

定価 13,200円(税込)

本体 12,000円(+税)

2023年11月刊行

A5判上製カバー装・336頁(カラー160頁)

ISBN978-4-585-31012-9 C3015



総本山仁和寺 監修 宇都宮啓吾 編

(うつのみや・けいご) 1966年生まれ。大阪大谷大学文学部教授。専門は日本語学、仏教典籍学。著書に『四天王寺聖教の世界』(四天王寺宝物館令和三年秋季特別展図録(監修・執筆、四天王寺勧学部、二〇二二年)などがある。

書名	冊数
国宝「三十帖冊子」 修理から見えてきたもの 総本山仁和寺＝監修 宇都宮啓吾＝編	冊
定価 13,200円(税込) 本体12,000円(+税) A5判上製カバー装・336頁(カラー160頁) 2023年11月刊行 ISBN978-4-585-31012-9 C3015	
ご送付先ご住所(通信欄)	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025 <http://bensei.jp/>

日本人の読書

古代・中世の学問を探る

佐藤道生 [著]

人びとは何を讀み、どのように學んできたのか――

古代・中世の日本において、書物を読み、解釈し、
伝えていくことは、限られた人びとにのみ許される
特権的な営みであった。

特に中国大陸ないしは朝鮮半島経由で伝えられた

漢籍（漢語で書かれた書物）は、国家を支える政治や法、

さらには思想や文化体系を伝える最先端のものとして重要視された。

中国の文化全般を学ぶことを目的とした

これらの学問——漢学——は、国家の制度のなかにも位置付けられ、

それを担う家では、書写・刊行された諸種の漢籍を入手し、

独自の学問を形成していった。

書物に残された注釈の書き入れ、来歴を伝える識語、

古記録や説話に残された漢学者の逸話など、

漢籍の読書の高まりをいまに伝える諸資料から

古代・中世における日本人の読書の歴史を明らかにする。

本書ではじめてフルカラー公開する資料

『清涼山伝』◎『文選集注』巻七断簡◎『文選集注』巻百十一断簡

金澤文庫本『文選集注』巻六十一残簡◎『論語』清原業賢書写・加點本

慶應義塾図書館蔵『論語』天文版清原枝賢加點本

『佐保類切』『施氏七書講義』断簡◎『佐保類切』『施氏七書講義』残簡

『道德経切』『老子道德経』断簡

著者プロフィール

佐藤道生（さとう みちお）

一九五五年生まれ。慶應義塾大学名誉教授。専門は古代・中世日本漢学。主な著書に『平安後期
日本漢文学の研究』（笠間書院、二〇〇三年）、『三河風来寺旧蔵曆応二年書写和漢朗詠集影印
と研究』（勉誠出版、二〇一四年）、「句題詩論考——王朝漢詩とは何ぞや」（勉誠出版、二〇一六年）、
『玉葉』に見られる課試制度関連記事の検討』（『変革期の社会と九条兼実——『玉葉』をひらく』
勉誠出版、二〇一八年）などがある。

目次

カラー口絵

◎本 篇

第一章 古代・中世日本人の読書

第二章 日本に現存する漢籍古写本——唐鈔本はなぜ読み継がれたのか

第三章 古代・中世漢文訓詁史

第四章 平安貴族の読書

第五章 藤原道長の漢籍蒐集

第六章 藤原兼実の読書生活——『素書』と『和漢朗詠集』

第七章 養和元年の意見封事——藤原兼実「可依変異被行攘災事」を読む

第八章 『論語疏』中国六世紀写本の出現

第九章 平安時代に於ける『文選集注』の受容

第十章 金澤文庫本『春秋経伝集解』、奥書の再検討

第十一章 室町後期に於ける『論語』伝授の様相

——天文版『論語』の果たした役割

第十二章 清原家の学問と漢籍

——『論語』を例として訓点と注釈書との関係を考える

第十三章 吉田家旧蔵の兵書

——慶應義塾図書館蔵『七書直解』等の紹介を兼ねて

第十四章 『佐保切』追跡

——大燈国師を伝称筆者とする書蹟に関する考察

第十五章 伝授と筆耕——呉三郎入道の事績

第十六章 『古文孝経』永仁五年写本の問題点

第十七章 猿投神社の漢籍古写本

——『史記』『春秋経伝集解』の書写者を探る

◎附 篇

第十八章 『朝野群載』卷十三の問題点

第十九章 日本漢学史上の句題詩

第二十章 『本朝麗藻』所収の積算詩——句題詩の変型として

第二十一章 藤原有国伝の再検討

第二十二章 大江匡房と藤原基俊

第二十三章 大江匡房の著作と『新撰朗詠集』

第二十四章 平安後期の文章得業生に関する覚書

第二十五章 『玉葉』に見られる課試制度関連記事の検討

第二十六章 平安時代の詩宴に果たした謝霊運の役割

あとがき／初出一覧／図版一覧／索引

貴重資料の
図版収録点数
総50超!

定価 13,200 円(本体 12,000 円)
A5判・上製カバー装・
504頁+カラー口絵16頁
ISBN978-4-585-39033-6 C3091
2023年9月刊行

書 名	部 数
日本人の読書 古代・中世の学問を探る 佐藤道生 [著]	定価 13,200 円(本体 12,000 円) A5判・上製カバー装 504頁+カラー口絵16頁 ISBN978-4-585-39033-6 C3091 2023年9月刊行
ご送付先ご住所・氏名（通信欄）	

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 〔編〕

訂正新版

定価三、八五〇円(税込)

本体三、五〇〇円(十税)

二〇二三年十一月刊行

A4判並製カバー装・総カラー・二二四頁

ISBN978-4-585-30010-6 C1500

※本書は『図説書誌学』(二〇一〇年初版発行)の訂正新版です。訂正新版刊行に際し、誤字・脱字等の訂正を施しました。

図説

書誌学

古典籍を

学ぶ

「書物」という文化遺産の継承のために

有史以来蓄積されてきた「書物」は、人間の英知・思想・思考・情感といった精神活動が、最も明瞭に集約表出されたかたちで伝承されてきた、学術文芸の遺産である。

この「書物」は、なぜここにこのように存在するのか――「書物」との真摯な対話により、過去から現在、そして未来へと連なる人間の知的営みの一端に自らリンクすることが出来るのである。



I 書物との対話 ― 書誌学研究の視点

はじめに―書誌学とは

第一章 本の姿

表紙の役割／紙墨の表情／書物の形／変化する書物

第二章 本の様々

漢籍と和書／漢字と仮名／文字と絵／コトバとモノ

第三章 本の誕生

誕生以前／自筆本／転写本・影写本・臨写本

第四章 本の流通

版下・校正刷り／翻刻本／摸刻本／伝写本

第五章 版本の時代

宋元版／明清版／朝鮮版・越南版／五山版・古活字版／和刻本

第六章 本の再生

付点・書入れ・批評／校合／入門書・工具書

第七章 書誌学の発達

目録学の発達／版本学の発達／考証学と近代

II 斯道文庫の五十年 ― これまでとこれから

・ 斯道文庫の五十年

・ 書物の収集と保全

・ 椎本文庫／浜野文庫／安井文庫／坦堂文庫／コレディエ文庫／亀井家学文庫／明治仏教史編纂所蔵書／センチユリー文化財団寄託資料／大曾根文庫／河村文庫／平岡文庫／松林桂月文庫／林泰輔自筆稿本類／ガス・パルトス文庫／永島文庫／戸原文庫

・ 斯道文庫年表

・ 斯道文庫蒐書の歴史

・ 出張調査年表

・ 研究事業・研究成果・公開事業

・ 執筆者一覧／書誌学用語索引

本書の特徴

昭和三十五年(一九六〇)の開設以来、書誌学の専門研究所として学界をリードしてきた斯道文庫所蔵の豊富な古典籍の中から、特に書誌学的観点から重要なものを選出、豊富なカラー図版・解説を通覧することで、書誌学の理念プロセア技術を学ぶことが出来る。



<p>書名</p> <h2>訂正新版 図説 書誌学</h2> <h3>古典籍を学ぶ</h3> <p>慶應義塾大学附属研究所斯道文庫〔編〕</p>	<p>冊数</p> <p>定価 3,850円(税込)・本体3,500円</p> <p>A4判並製カバー装・224頁</p> <p>2023年11月刊行</p> <p>ISBN978-4-585-30010-6 C1500</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。

東京都千代田区神田三崎町2-18-4 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025 <http://bensei.jp/>

関連書籍のご案内

金沢文庫蔵 国宝 称名寺聖教 湛睿説草 研究と翻刻

納富常天〔著〕

華嚴・戒律の学問を修め、密教の行法の奥義にも達し、かつ唱導や悉曇にも名を遺す希代の学僧、湛睿。国宝・称名寺聖教より、鎌倉時代末期の激動期に残した南都流を中心とした貴重な唱導資料を集成・翻刻。湛睿の唱導の全体像とその法流・人的交流を捉えた解説も収載。

定価 17,600円(税込) → **【2割引価格】14,080円** ・ A5判上製 ・ 728頁 ・ ISBN28042 ・ 2018年6月刊行

称名寺聖教 尊勝院弁暁説草 翻刻と解題

神奈川県立 金沢文庫〔編〕

金沢称名寺に残る中世の写本の中から見出された弁暁の説草(説教の台本)を翻刻。近年の解説作業の結果、その数は130点余りに及び、東大寺再建にかけた弁暁の熱弁が蘇る。東大寺再興に大きく寄与した学僧弁暁の法会・唱導の実体を伝える根本資料。(※在庫僅少)

定価 13,200円(税込) → **【2割引価格】10,560円** ・ A5判上製 ・ 416頁 ・ ISBN22070 ・ 2013年10月刊行

国宝 称名寺聖教／金沢文庫文書

編集部〔編〕〈書物学 第8巻〉

2016年、国宝指定！中世の息吹を現代に伝えるタイムカプセル、称名寺聖教／金沢文庫文書の魅力に迫る。(※在庫僅少)

定価 1,650円(税込) → **【2割引価格】1,320円** ・ B5判並製 ・ 96頁 ・ ISBN20708 ・ 2016年8月刊行

特殊文庫をひらく 古典籍がつなぐ過去と未来

編集部〔編〕〈書物学 第16巻〉

国内外に蔵書を誇り、また古典籍の研究機関として名高い、大東急記念文庫、東洋文庫、斯道文庫、金沢文庫、静嘉堂文庫の5館をピックアップし、その魅力・来歴・蔵書を紹介。「特殊文庫」を知り、闊歩するための格好のガイドブック。

定価 1,650円(税込) → **【2割引価格】1,320円** ・ B5判並製 ・ 96頁 ・ ISBN-20716 ・ 2019年7月刊行

ことば・ほとけ・図像の交響

法会・儀礼とアーカイヴ 近本謙介〔編〕

唱導や文芸のことば、仏像彫刻や寺院空間、図像や絵画、宗教空間で執り行われる法会・儀礼の次第や所作、それらを支える教理・教学—諸種の要素の響き合いにより営まれた法会・儀礼の実際を、寺院に伝承されてきたアーカイヴを紐解くことで明らかにする。

定価 13,200円(税込) → **【2割引価格】10,560円** ・ B5判上製 ・ 544頁 ・ ISBN31009 ・ 2016年7月刊行

宗教遺産テキスト学の創成

木俣元一・近本謙介〔編〕

宗教遺産を人類的な営みとして横断的かつ俯瞰的に捉え、ひと・モノ・知の往来により生成・伝播・交流・集積を繰り返すその動態を、精緻なアーカイヴ化により知のプラットフォームを構築することで、多様性と多声性のなかに位置づける。

定価 16,500円(税込) → **【2割引価格】13,200円** ・ B5判上製 ・ 728頁 ・ ISBN31008 ・ 2022年3月刊行

宗教芸能としての能楽

高橋悠介〔編〕〈アジア遊学265号〉

中世日本の宗教的な知は、どのように能楽に流れ込み、作品世界を形成していったのか。能作品や能楽論の中の仏教や神祇に関わる面を掘り下げること、宗教芸能としての能楽について考えるとともに、能を通して、室町の宗教文化の一端を明らかにする。

定価 3,300円(税込) → **【2割引価格】2,640円** ・ A5判並製 ・ 280頁 ・ ISBN32511 ・ 2022年1月刊行

お申込書◎ご注文欄にチェックを付け、ご送付先情報をご記入の上、勉強社まで直接お申し込みください。

書店での割引販売はできませんのでご注意ください。

お振込用紙をお送りいたしますので、ご入金確認後、書籍をお送りいたします。

※リストに掲載していない書籍でも割引販売いたします。

お名前・ご送付先住所

電話番号 ()

メールアドレス

勉強社

上記にご記入の上、勉強社営業部まで直接お申込みください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 mail: info@bensei.jp

FAX◎03-5215-9025

楷書の秘密

「字様」が発見されるまで

かいしよのひみつ
じようがはつけんされるまで

五万字以上もある楷書の字形が、
乱れることなく現代まで保たれ続けているのはなぜか――

類似する楷書を広く弁別するために編纂された典籍「字様」。

字書とは異なる性格・構成をもつそれは、

科挙制度とも深く結びつきながら楷書字形のあるべき姿を決めていった。

筆者の発見した典籍『正名要録』『群書新定字様』の精査から浮かんでくる「字様」という概念を紹介する。

また『説文解字』の検討により、楷書の歴史を整理し、字体の規定の有り様を明らかにするとともに、

「楷書」という東アジア漢字文化圏を支える文字体系の解明を目指す。

西原一幸 [著]

(にしはら かずゆき)一九四七年生まれ。

金城学院大学名誉教授。

専門は中国・日本の古代辞書。

主な著書に『唐代字様二種の研究と索引』(大友信一と共著、桜楓社、一九八四年)、『字様の研究――唐代楷書字体規範

の成立と展開』(勉誠出版、二〇一五年)などがある。

もくじ

- 一九七〇年代までの研究状況
- 新資料の出現
- 『干禄字書』と『五経文字』は字様である
- 隋・唐代の弁別体系と字様
- 新資料の出現
- 『干禄字書』の威力
- 石経が採用される理由
- 開成石経と『五経文字』
- 『正名要録』と『顔氏家訓』
- 俗体とは何か――顔元孫と俗体の成立――
- 開成石経と唐玄度撰『新加九经字様』――石経字形はどのようにして決められたか――
- 文宗の最後
- 唐代楷書字体規範からみた『龍龕手鏡』
- 異体字同定上の問題点
- 楷書の秘密

あとがき

定価 四、一八〇円(本体三八〇〇円)

四六判・並製・二〇八頁

二〇二四年二月刊行

ISBN978-4-585-38005-4 C3080

書名	部数
楷書の秘密 「字様」が発見されるまで 西原一幸 [著]	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

定価 4,180円(本体 3,800円)

四六判・並製カバー装・208頁
ISBN978-4-585-38005-4 C3080
2024年2月刊行

神奈川県立日本常民文化研究所(監修)・関口博巨(編)

古文書修復講座

歴史資料の継承のために

歴史資料を残し、伝えていくために――

日本においては、歴史を伝える資料、

特に古文書・古記録などの紙を利用した史資料が多く残されている。

これらは博物館や資料館、図書館などで管理されているもののみではなく、家屋や倉庫などの奥底、さらには襖の下張りや表紙の裏などに残され、破損・水損・虫害など、さまざまなリスクに囲まれている。

傷んでしまった史資料は、どのように対処し、管理していくべきなのか。

長年にわたり、古文書の調査のみならず保存・管理の方法論を検討し、史資料の取り扱いかたのレクチャーを行ってきた

神奈川県立日本常民文化研究所のノウハウ・知見を、

豊富なカラー写真とともに余すところなく紹介する必備の一冊。

博物館・資料館・図書館等、 古文書を取り扱う方々に必携の書

【監修者プロフィール】

神奈川県立日本常民文化研究所

日本民衆の生活・文化・歴史を多様な領域において調査・研究する、神奈川県立大学附置の学際的研究機関。

1921年に渋沢栄一の孫である渋沢敬三が創設した“アチックミュージアムソサエティ”を前身として、日本各地の生活文化、中でも民具や水産史の研究を中心に活動を進め、戦前・戦後の日本常民文化研究所を経て神奈川県立大学に招致され、2021年で創立100周年をむかえた。

2023年には、神奈川県立日本常民文化研究所は博物館相当施設に指定され、常民文化ミュージアムがリニューアルオープンしている
(<http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/about/>)。

【編者プロフィール】

関口博巨(せきぐち・ひろお)

1960年生まれ。神奈川県立大学国際日本学部准教授。専門は日本近世史。

著書に『近世村落の領域と身分』(吉川弘文館、2021年)、『古文書を学ぶ』(御茶の水書房、2021年)、論文に『水軍の記憶』を編む――二神種章の歴史叙述』(『歴史と民俗』35、平凡社、2019年)などがある。

【もくじ】

はじめに…関口博巨

1.古文書修復実習開催の背景

古文書返却の旅

常民研による古文書修復のはじまり

恒例化した古文書修復実習

2.本書の構成

古文書修復(1):記録・解体(実習1)…白水智

古文書修復(2):修理―古文書の裏打ちと繕い(実習2)…山口悟史

古文書修復(3):復原(実習3)…関口博巨

下張り文書の剥離と洗浄(実習4)…平田茉莉子・中村 慧

整理(実習5)…白水 智

column

古文書を食べる虫…山口悟史

近現代史料の整理をはじめ前の手当て…平田茉莉子

水損古文書を救う―乾燥・洗浄処置と開披方法…山口悟史

古文書修理の接着剤…山口悟史

モノとしての古文書と民具―複合資料論の試み…関口博巨

民具と古文書の間…石野律子

偽作された古文書…日座久美子

表具師・経師と修復…平田茉莉子

渋沢敬三が求めた「常民古文書」…窪田涼子

時代をまたぐ史料をどのように整理するか…白水 智

神奈川県立日本常民文化研究所について

あとがき…関口博巨

執筆者紹介

カラー図版
約350点
掲載!

定価 4,180 円(本体価格 3,800 円)

B5判並製カバー装・フルカラー 192頁
ISBN978-4-585-32035-7 C1021
2024年3月刊行

書名	部数
古文書修復講座 歴史資料の継承のために 神奈川県立日本常民文化研究所(監修)・関口博巨(編者)	部
ご送付先ご住所・氏名(通信欄)	

電子書籍（フルカラー版）同時刊行！！

本書ご購入の方には、
電子書籍を半額で販売いたします。
ご希望の方は【info@bensei.jp】まで
お問い合わせください。

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館

〈編〉

本 かたちと文化

古典籍・近代文献の見方・楽しみ方

写本、
版本、
明治期に
作られた書籍

日本の古い本には色々な形があり、それを構成する部品、作られた時代も様式も様々である。これらの「本」には何が書かれているのか。そもそも「本」のどこをどのように見ればいいのか。くずし字はどう読めばいい？ 捺されているハンコは何を意味しているのか？ 表紙の模様にはどのような意味が隠されているのか？ 一流の研究者たちが丁寧にわかりやすく解説する。多数の図版とともに楽しむ、充実の古典籍・近代文献の入門書！

Contents

- 刊行に寄せて……渡部泰明
はじめに——「本」を学び楽しむために……海野圭介
- 講義 1 ◎ はじめての古典籍……神作研一
「コラム」亀甲パレン「」のこと……神作研一
- 講義 2 ◎ くずし字——昔の人の文字をどう読むか……桑汐里
「コラム」書物を切る——古筆切という資料……海野圭介
- 講義 3 ◎ 写本——奥書・識語から本の来歴と素性を知る……海野圭介
「コラム」国書データベースで複数の画像を比較するには……木越俊介
- 講義 4 ◎ 版本——刊記・奥付から印刷文化を探る……木越俊介
「コラム」『彩画職人部類』再刻』を検証する……木越俊介
- 講義 5 ◎ 装訂と料紙——本の「かたち」から何を読みとるか……落合博志
「コラム」写本を模倣する古活字版……落合博志
「コラム」表紙は装訂です——付新出化紙綴じ二種……神作研一
- 講義 6 ◎ 表紙文様——本を彩る意匠の世界……齋藤真麻理
「コラム」表紙ウラの楽しみ……齋藤真麻理
「コラム」文様と奈良絵本……齋藤真麻理
- 講義 7 ◎ 印——本に捺されたハンコは何を伝えているのか……松永瑠成
「コラム」史料としての貸本印……松永瑠成
「コラム」印主の調べ方……松永瑠成
- 講義 8 ◎ 江戸の出版文化——古活字版を中心に……入口敦志
「コラム」日本出版史の謎……入口敦志
- 講義 9 ◎ 近代本の世界——近代資料の作り方・（残し方・読み方）……多田蔵人
「コラム」ナポレオンの妻の物語……多田蔵人
「コラム」普通の本の大切さ……多田蔵人
「コラム」蔵書形成の意義——国文研のコレクション紹介を兼ねて……木越俊介・齋藤真麻理
- 参考文献リスト——工具書を中心に
国文研を利用しよう



書名	冊数
本 かたちと文化 古典籍・近代文献の見方・楽しみ方 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館 〈編〉	冊
ご送付先ご住所（通信欄）	

定価 3,080 円・本体2,800円
A5判並製カバー装・288頁
2024年2月刊行
ISBN978-4-585-30011-3 C1000

株式会社 勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 http://bensei.jp/

FAX ●03-5215-9025

書物学 25

古典籍の 文献学

鶴見大学図書館の蒐書を巡る

定価 2,200円・本体2,000円
B5判並製・オールカラー・120頁
2024年3月刊行
ISBN978-4-585-30725-9 C1000

『伊勢物語』、『源氏物語』などの物語、歌集・歌学書、古筆切、仏書、漢籍、洋学資料…。

鶴見大学図書館では、文献資料に基づく実証的研究を伝統とし、その時々々の教職員が書物に対する深い関心と集書への熱意によって、徐々に貴重な古典籍が蒐集されてきた。

そのコレクションは全国でも屈指の収蔵点数を誇っており、まさに「宝庫」と呼ぶに相応しい。鶴見大学図書館が七十年の長きにわたり、博搜と収蔵に取り組み続け、守り伝えてきた宮為とその魅力をあますところなく紹介する。

鶴見大学図書館の貴重書——これまでとこれから ●伊倉史人

第一部…物語と歌書

伊勢物語 ●久保木秀夫

源氏物語——河内本または別本を含む写本 ●田口暢之

『平家物語』長門切——鶴見大学図書館断簡を中心に 付長門切一覽 ●平藤幸

改竄された仮名遣い——契沖筆、古今和歌集」とその模刻 ●加藤弓枝

新古今和歌集——鎌倉期写の残欠本 ●田口暢之

十三代集とその周辺——「写字白」旧蔵本と尊円筆、風雅和歌集 ●石澤一志

御室撰歌合と千五百番歌合 ●田口暢之

鶴見大学図書館蔵伝後京極良経筆和漢朗詠集について ●山本まり子

古筆切・古筆手鑑 ●久保木秀夫

無訓の金沢文庫切 ●新沢典子

院政期歌学書の善本——『俊頼髓脳』を中心に ●伊倉史人

新収の古今注——伝轉法輪公教筆、古今和歌集注の紹介 ●河田翔子

第二部…仏書・漢籍・洋学・アーカイブ

鶴見大学図書館所蔵品をとおしてみる本邦における仏典の書写・請求・印刷 ●宮崎展昌

聖教を披き、「玉蔵」を思い描く ●小島裕子

禅籍ではじまる日本出版文化 ●万波寿子

仏教文化研究所——總持寺、瑠山禪師の探求と大遠忌関連事業 ●尾崎正善

鶴見大学所蔵の中国漢籍——三槐堂王乾字刊、烏臺正詔凌雲詩経 ●金文京

開国の足音——オールコック、初学者用日本文法綱要 ●遠藤佳那子

でんしかししょう！ ●大矢一志



<p>書名</p> <p>[書物学 25]</p> <p>古典籍の文献学</p> <p>鶴見大学図書館の蒐書を巡る</p> <p>編集部〈編〉</p>	<p>冊数</p> <p>冊</p>
<p>ご送付先ご住所（通信欄）</p>	

定価 2,200円・本体2,000円
B5判並製・オールカラー・120頁
2024年3月刊行
ISBN978-4-585-30725-9 C1000

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編

訂正新版

図説

書誌学

古典籍を

学ぶ

「書物」という文化遺産の継承のために

有史以来蓄積されてきた「書物」は、人間の英知・思想・思考・情感といった精神活動が、最も明瞭に集約表出されたかたちで伝承されてきた、学術文芸の遺産である。

この「書物」は、なぜここにこのように存在するのか——「書物」との真摯な対話により、過去から現在、そして未来へと連なる人間の知的営みの一端に自らリンクすることが出来るのである。

定価三、八五〇円(税込)

本体三、五〇〇円(十税)

二〇二三年一月刊行

A4判並製カバー装・総カラー・二二四頁

ISBN978-4-585-30010-6 C1500

※本書は『図説書誌学』(二〇一〇年初版発行)の訂正新版です。訂正新版刊行に際し、誤字・脱字等の訂正を施しました。



I 書物との対話——書誌学研究の視点

はじめに——書誌学とは

第一章 本の姿

表紙の役割／紙墨の表情／書物の形／変化する書物

第二章 本の様々

漢籍と和書／漢字と仮名／文字と絵／コトバとモノ

第三章 本の誕生

誕生以前／自筆本／転写本・影写本・臨写本

第四章 本の流通

版下・校正刷り／翻刻本／摸刻本／伝写本

第五章 版本の時代

宋元版／明清版／朝鮮版・越南版／五山版・古活字版／和刻本

第六章 本の再生

付点・書入れ・批評／校合／入門書・工具書

第七章 書誌学の発達

目録学の発達／版本学の発達／考証学と近代

II 斯道文庫の五十年——これまでとこれから

・ 斯道文庫の五十年

・ 書物の収集と保全

・ 椎本文庫／浜野文庫／安井文庫／坦堂文庫／コレディエ文庫／亀井家学文庫／明治仏教史編纂所蔵書／センチユリー文化財団寄託資料／大曾根文庫／河村文庫／平岡文庫／松林桂月文庫／林泰輔自筆稿本類／ガス・パルトス文庫／永島文庫／戸原文庫

・ 斯道文庫年表

・ 斯道文庫蒐書の歴史

・ 出張調査年表

・ 研究事業・研究成果・公開事業

・ 執筆者一覧／書誌学用語索引

本書の特徴

昭和三五年(一九六〇)の開設以来、書誌学の専門研究所として学界をリードしてきた斯道文庫所蔵の豊富な古典籍の中から、特に書誌学的観点から重要なものを選出、豊富なカラー図版・解説を通覧することで、書誌学の理念・プロセス・技術を学ぶことが出来る。



<p>書名</p> <h2>訂正新版 図説 書誌学</h2> <h3>古典籍を学ぶ</h3> <p>慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編</p>	<p>冊数</p> <p>定価 3,850円(税込)・本体3,500円</p> <p>A4判並製カバー装・224頁</p> <p>2023年11月刊行</p> <p>ISBN978-4-585-30010-6 C1500</p>
<p>ご送付先ご住所 (通信欄)</p>	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025 <http://bensei.jp/>

【パターン配本は
ございません】

大好評
第7刷

堀川貴司〔著〕

（ほりかわたかし）一九六二年生まれ。慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教
授。専門は日本漢文学。著書に『書誌学入門』（勉誠出版、二〇一〇年）『五山文
学研究 資料と論考』（正統、笠間書院、二〇一一年・二〇一五年）などがある。

書誌学入門

古典籍を見る・知る・読む

国文学研究の
基本図書！
詳細な構成、
平易な解説、
高い信頼性。
多数の大学で
教科書として
採用される
大好評の
ロングセラー！

豊穡な「知」のネットワークの海へ――

「書誌学」とは、「書物」という人間の文化的活動において重要な位置を占めるものを総体的に捉えること、すなわち、その書物の成立と伝来を跡づけて、人間の歴史と時間という空間の中に位置づけることを目的とする学問である。この書物はどのように作られたのか、どのように読まれ、どのように伝えられ、今ここに存在しているのか――。「モノ」としての書物に目を向けることで、人々の織り成してきた豊穡な「知」のネットワークが浮かびあがってくる。

【目次】

口絵―文様見本
はじめに―書誌学の目的と対象

第一部―古典籍を見る（実践編）

調査用具と参考書／構成要素と記述項目／大きさと装訂 付・残存状況／表紙／外題と内題／前付と後付／本文（1）―版式・写式／本文（2）―文字・絵／刊記・奥書／書入・蔵書印等 付・保存容器と保存状態／参考情報／他の伝本との比較

第二部―古典籍を知る（知識編）

紙その他の原材料／中国・朝鮮の書物と日本／古代・中世の写本と蔵書（1）―寺院／古代・中世の写本と蔵書（2）―公家・武家／古代・中世の出版／古活字版／近世初期・前期の出版／近世中期の出版 付・非商業出版／近世後期・幕末明治期の出版／近世の写本と蔵書／近代の蔵書／非書物形態の資料

第三部―古典籍を読む（応用編）

図書館資料のなかの古典籍／辞書を使う／注釈書を読む／論文を読む・書く

附録―書誌調査の流れ／和暦西暦年表

ふわりに―書誌学の未来／参考文献／図版一覧

索引

定価 一、九八〇円（税込）

【本体一、八〇〇円】
A5並製カバー装・二七二頁

二〇一〇年四月刊行
ISBN978-4-585-20001-7 C0500

書名	部数
書誌学入門 古典籍を見る・知る・読む 堀川貴司〈著〉	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

定価1,980円（税込）・本体1,800円

A5判並製カバー装・272頁
2010年4月刊行
ISBN978-4-585-20001-7 C0500

勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

書名	編著者名	刊行年月	ISBN	定価	割引価格 (税込)	注文欄
近刊 日本人は漢文をどう読んだか―直読から訓読へ	湯沢賢幸 著	2024/05	38005	3,520	2,800	
近刊 永平廣録 大全―『祖山本 永平廣録』訓読・訳註・補注参 楷書の秘密―「字様」が発見されるまで	大谷哲夫 著 西原一幸 著	2024/06	31017	71,500	57,200	
国宝「三十帖冊子」 修理から見てきたもの	総本山仁和寺 監修／宇都宮啓吾 編	202402	38005	4,180	3,300	
訂正新版 図説 書誌学―古典籍を学ぶ	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編	202312	31012	13,200	10,600	
本 かたちと文化―古典籍・近代文献の見方・楽しみ方	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編	202312	30010	3,850	3,100	
古文書修復講座―歴史資料の継承のために	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館 編	202402	30011	3,080	2,500	
古文書研究 第96号	日本古文書学会 編	202403	32035	4,180	3,300	
紙のレンズがひらく古典籍・絵画の世界	江南和幸・佐藤悟・横井孝(新コディコロジー研	202312	32406	4,180	3,300	
本朝麗藻詳注	江南和幸・佐藤悟・横井孝(新コディコロジー研	202311	39036	4,950	4,000	
書物・印刷・本屋	柳澤良一 著	202311	39030	30,800	24,600	
日本人の読書	藤本幸夫 編	202106	30002	17,600	14,100	
論究日本近代語 第1集	佐藤道生 著	202309	39033	13,200	10,600	
論究日本近代語 第2集	日本近代語研究会 編	202003	28521	16,500	13,200	
論究日本近代語 第3集	日本近代語研究会 編	202203	38522	16,500	13,200	
方言地理学の視界	日本近代語研究会 編	202404	38523	16,500	13,200	
日本語文字論の挑戦	小林隆・大西拓一郎・篠崎晃一 編	202305	38003	8,800	7,000	
コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究	加藤重広・岡増裕剛 編	202103	38000	7,700	6,200	
龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録 元亨版 翻刻および総索引	近藤明日子 著	202102	28052	9,350	7,500	
日本書紀声点本の研究	佐々木勇 主編	202004	28050	19,800	15,800	
近世後期テニヲ八論の展開と活用研究	鈴木豊 著	202003	28048	15,400	12,300	
漱石文体見本帳	遠藤佳那子 著	202001	28047	8,800	7,000	
文化情報学事典	北川扶生子 著	202001	29189	3,080	2,500	
平安時代における変体漢文の研究	村上征勝 監修／金明哲・小木晋智信・中國聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 編	201912	20071	16,500	13,200	
江戸・東京語の否定表現構造の研究	田中草大 著	201902	29172	8,800	7,000	
中世古今和歌集注釈の世界 毘沙門堂本古今集注をひもとく	許哲 著	201805	28041	8,580	6,900	
日本語程度副詞体系の変遷 古代語から近代語へ	人間文化研究機構 国文学研究資料館 編	201803	29158	14,300	11,400	
山田孝雄著『日本文体の変遷』本文と解説	田和真紀子 著	201705	28033	6,600	5,300	
漢字字体史研究 二 字体と漢字情報	藤本灯・田中草大・北崎勇帆 編	201702	28032	4,950	4,000	
『色葉字類抄』の研究	石塚晴通 監修／高田智和・馬場基・横山詔一 編	201611	28029	8,800	7,000	
日本古典漢語語彙集成	藤本灯 著	201603	28023	16,500	13,200	
明恵上人夢記 訳注	柏谷嘉弘・鶴岡昭夫 編	201511	28022	82,500	66,000	
思想史のなかの日本語 訓読・翻訳・国語	奥田勲・平野多恵・前川健一 編	201502	21024	8,800	7,000	
近代日本語と文語文 今なお息づく美しいことば	中村春作 著	201705	21041	3,080	2,500	
ベトナム語空間ダイクシスとその展開	三浦勝也 著	201406	28014	2,750	2,200	
サハ語文法	安達真弓 著	202105	38001	11,000	8,800	
日本語史の新視点と現代日本語	江畑冬生 著	202004	28049	10,780	8,600	
漢字字体史研究	小林賢次・小林千草 編	201403	28011	14,300	11,400	
漢文訓読と近代日本語の形成	石塚晴通 編	201211	28008	8,800	7,000	
書誌学入門 古典籍を見る・知る・読む	齋藤文俊 著	201102	10451	8,250	6,600	
宣教師の日本語文学 研究と目録	堀川貴司 著	201004	20001	1,980	1,600	
カピタン 最後の江戸参府と阿蘭陀宿 歩く、異文化交流の体現者	郭南燕 編著	202302	39026	12,100	9,700	
戦国日本のキリシタン布教論争	大橋幸泰 編	202307	32530	3,080	2,500	
戦国大名の海外交易	片桐一男 著	201907	22244	6,600	5,300	
隠れキリシタンの布教用ノート 吉利支丹抄物 影印・翻刻・現代	高橋裕史 著	201905	22236	5,060	4,000	
出島遊女と阿蘭陀通詞 日蘭交流の陰の立役者	鹿毛敏夫 著	201904	22229	9,350	7,500	
球陽外巻 遺老説伝	大塚英二 編	201901	22230	11,000	8,800	
杜甫研究年報 第七号	片桐一男 著	201805	22197	3,960	3,200	
三井大坂両替店の顧客信用情報―享保一七年から明治二年まで	前村佳幸 校注	202404	32048	8,800	7,000	
水門 第三十一号	日本杜甫学会 編	202404	39447	2,200	1,800	
日本近世史入門―ようこそ研究の世界へ！	萬代悠 編	202403	32042	16,500	13,200	
歴史叙述としての平家物語	水門の会 編	202403	32462	3,850	3,100	
泰山諸神の信仰の展開―東岳大帝から碧霞元君へ	上野大輔・清水光明・三ツ松誠・吉村雅美 編	202402	32034-0	4,180	3,300	
物語る仏教絵画―童子・死・聖地	塩山真奈 著	202402	39037	8,800	7,000	
地方史誌から世界史へ	二ノ宮聡 著	202401	31018	8,800	7,000	
列島の中世地下文書	山本陽子 著	202310	37011	11,000	8,800	
深草瑞光寺所蔵 元政上人資料集	小二田草 編	202306	32028	8,800	7,000	
俊頼鶴胤全訳	春田直紀 編	202305	32528	3,300	2,600	
文と書	岡雅彦・落合博志・桑名法晃・長田和也・中前正	202303	31013	22,000	17,600	
江戸時代前期出版年表〔万治元年～貞享五年〕	家永香織・小野泰史・鹿野しのぶ・館野文昭・福	202303	39025	16,500	13,200	
鎌倉時代禅僧喫茶史料集成	亀澤孝幸 著	202303	37008	8,800	7,000	
新羅政治社会史研究	岡雅彦 編	202303	32029	35,200	28,200	
	館隆志 著	202302	31014	14,850	11,900	
	武田幸男 著	202212	32024	13,200	10,600	

慈円『法華要文百首』全釈	石川一 編	202211	39016	9,900	7,900
公文書管理法時代の自治体と文書管理	宮間純一 編	202210	30008	6,600	5,300
「唐物」とは何か	河添房江・皆川雅樹 編	202210	32520	3,080	2,500
和漢朗詠集とその享受 増訂新版	三木雅博 著	202210	39012	16,500	13,200
地域文化の可能性	木部暢子 編	202203	32015	2,970	2,400
影印					
東洋文庫善本叢書2 重要文化財 ドチリーナ・キリシタン 天	公益財団法人 東洋文庫 監修/豊島正之 解説	201409	28202	15,400	12,300
東洋文庫善本叢書10 天正十八年本 節用集	公益財団法人 東洋文庫 監修/豊島正之 解説	201509	28210	41,800	33,400
国宝 漢書楊雄伝 第五十七	京都国立博物館 原本所蔵・編/石塚晴通・上杉	201912	28046	38,500	30,800
慶應義塾図書館蔵 論語疏卷六 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵	慶應義塾大学論語研究会 編	202111	31004	19,800	15,800
国宝 小川本 真草千字文	小川雅人 原本所蔵/石塚晴通・赤尾栄慶 編	201811	27049	27,500	22,000
京都国立博物館所蔵 国宝 吉田本 日本書紀	京都国立博物館 編/石塚晴通・羽田聡 解説	201402	22072	110,000	88,000
京都国立博物館所蔵 国宝 岩崎本 日本書紀	京都国立博物館 編/石塚晴通・赤尾栄慶 解説	201401	22071	38,500	30,800
京都国立博物館所蔵 国宝 浄名玄論	京都国立博物館 編/石塚晴通・赤尾栄慶 解説	201404	22073	110,000	88,000
国宝 西大寺本 金光明最勝王経 天平宝字六年百濟豊虫願経	総本山西大寺 編/佐伯俊源・月本雅幸・野尻忠	201309	28505	110,000	88,000
キリシタン版 日葡辞書 カラー影印版	オックスフォード大学ボードレイアン図書館 所	201301	20014	110,000	88,000
改訂新版 古本節用集六種 研究並びに総合索引	中田祝夫 著	200905	03237	47,300	37,800
改訂新版 文明本節用集 研究並びに索引	中田祝夫 著	200605	03152	45,100	36,100
改訂新版 書言字考節用集 研究並びに索引	中田祝夫・小林祥次郎 著	200605	03153	33,000	26,400
仮名遣及仮名字体沿革史料	大矢透 著/中田祝夫・峰岸明 解説索引	200505	03138	19,800	15,800
図書寮本 類聚名義抄	築島裕 解説/橋本不美男・宮澤俊雅・酒井憲二	200505	03139	22,000	17,600
オンデマンド版					
「訓読」論 (オンデマンド版)	中村春作・市来津由彦・田尻祐一郎・前田勉 共	202211	83184	5,280	4,200
増補改訂 古代日本人と外国語 (オンデマンド版)	湯沢賢幸 著	202207	84074	3,080	2,500
続「訓読」論 (オンデマンド版)	中村春作・市来津由彦・田尻祐一郎・前田勉 編	202211	88001	6,600	5,300
近代日本語教科書語彙索引 (オンデマンド版)	伊藤孝行 編	202207	88002	8,800	7,000
日韓漢文訓読研究 (オンデマンド版)	藤本幸夫 編	202211	88015	11,000	8,800
近代日本語の形成と欧文直訳的表現 (オンデマンド版)	八木下孝雄 著	202208	88040	7,150	5,700
江戸時代初期出版年表〔天正十九年～明暦四年〕 (オンデマンド版)	門野彦・山口夏士・大橋正秋・岡本勝・落合博 志・栗原圭雄・鈴木俊幸・堀山貴司・柳沢昌紀	202310	80452	27,500	22,000
書物学					
書物学 第1巻 書物学こと始め	編集部 編	201403	20701	1,650	1,300
書物学 第2巻 書物古今東西	編集部 編	201405	20702	1,650	1,300
書物学 第3巻 書物とエロス	編集部 編	201408	20703	1,650	1,300
書物学 第4巻 出版文化と江戸の教養	編集部 編	201502	20704	1,650	1,300
書物学 第5巻 洋古書の愉悅	編集部 編	201507	20705	1,650	1,300
書物学 第6巻 「書」が語る日本文化	編集部 編	201511	20706	1,650	1,300
書物学 第7巻 医書の世界	編集部 編	201603	20707	1,650	1,300
書物学 第8巻 国宝 称名寺聖教/金沢文庫文書	編集部 編	201608	20708	1,650	1,300
書物学 第9巻 江戸の欲望/江戸という欲望	編集部 編	201610	20709	1,650	1,300
書物学 第10巻 南方熊楠生誕150年	編集部 編	201703	20710	1,650	1,300
書物学 第11巻 語りかける洋古書	編集部 編	201708	20711	1,650	1,300
書物学 第12巻 江戸初期の学問と出版	編集部 編	201802	20712	1,650	1,300
書物学 第13巻 学問の家の書物と伝授 清原家の営為を探る	編集部 編	201808	20713	1,650	1,300
書物学 第14巻 贋作・偽作	編集部 編	201812	20714	1,650	1,300
書物学 第15巻 金属活字と近代	編集部 編	201904	20715	1,650	1,300
書物学 第16巻 特殊文庫をひらく 古典籍がつなぐ過去と未来	編集部 編	201907	20716	1,650	1,300
書物学 第17巻 編集文献学への誘い	編集部 編	201909	20717	1,650	1,300
書物学 第18巻 蔵書はめぐる	編集部 編	202007	20718	1,980	1,600
書物学 第19巻 紙のレンズから見た古典籍	編集部 編	202202	30719	1,980	1,600
書物学 第20巻 追憶のサムライ	横浜市歴史博物館 編	202210	30720	1,980	1,600
書物学 第21巻 活字	編集部 編	202212	30721	1,980	1,600
書物学 第22巻 禅寺の学問	編集部 編	202302	30722	1,980	1,600
書物学 第23巻 文化財をつなぐひと・もの・わざ	編集部 編	202304	30724	1,980	1,600
書物学 第24巻 100年くらい前の本づくり	編集部 編	202308	30723	2,200	1,800
書物学 第25巻 古典籍の文献学—鶴見大学図書館の蒐書を巡る	編集部 編	202404	30725	2,200	1,800
図書館学・アーカイブ					
ひらかれる公共資料—「デジタル公共文書」という問題提起	福島幸宏 責任編集	202311	30303	3,520	2,800
知識インフラの再設計	数藤雅彦 責任編集	202211	30301	3,520	2,800
調べ物に役立つ 図書館のデータベース	小曾川真貴 著	202208	30006	1,980	1,600
ライブラリーぶっくす 専門図書館探訪	青柳英治・長谷川昭子 共著/専門図書館協議会	201910	20070	2,200	1,800

在庫僅少本リスト

ISBN	書名	編著者名	本体価格
03075	改編 匠材集 Y5000E	小林祥次郎 編	5,000
03088	和名類聚抄の文献学的研究 Y25000E	林忠鵬 著	25,000
03128	中世聖徳太子伝集成 Y98000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編	98,000
03131	阿倍仲麻呂傳研究 Y28000E	杉本直治郎 著／神鷹徳治 序／氣賀澤保規 解題	28,000
03137	ラホ日辞典の日本語 Y40000E	金沢大学法文学部国文学研究室 編	40,000
03138	仮名遣及仮名字体沿革史料 Y18000E	大矢透 著／中田祝夫・峰岸明 解説索引	18,000
03139	図書寮本類聚名義抄 Y20000E	築島裕 解説／橋本不美男・宮澤俊雅・酒井憲二 索引	20,000
03144	狂言六義総索引 Y20000E	東京都立大学中世語研究会 編／小林賢次 代表	20,000
03152	改訂新版 文明本節用集 Y41000E	中田祝夫 著	41,000
03153	改訂新版 書言字考節用集 研究並びに索引	中田祝夫・小林祥次郎 著	30,000
03237	改訂新版 古本節用集六種研 Y43000 E	中田祝夫 著	43,000
03160	古今集注釈書伝本書目 Y30000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編	30,000
03165	空海及び白楽天の著作に係わる注釈書類の調査研究Y40000E	太田次男 著	40,000
03174	金剛寺本『三宝感応要略録』の Y16000E	後藤昭雄 監修	16,000
03176	古写本和名類聚抄集成 Y65000E	馬淵和夫 著	65,000
03182	和漢朗詠集私註・文筆問答抄 Y12000 E	柳澤良一 編	12,000
03183	江吏部集・無題詩 Y12000E	柳澤良一 編	12,000
03191	古今集注釈書影印叢刊1僻案抄Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修／佐々木孝浩 解題	10,000
03192	古今集注釈書影印叢刊2古今和Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修／川上新一郎 解題	10,000
03194	古今集注釈書影印叢刊4 Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修／山本令子・石神秀美 解	10,000
03195	古今集注釈書影印叢刊5 Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修／川上新一郎 解題	10,000
03196	古今集注釈書影印叢刊6 Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修／川上新一郎 解題	10,000
03197	古今集注釈書影印叢刊7 Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修／川上新一郎 解題	10,000
03198	古今集注釈書影印叢刊8 Y10000E	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 監修／川上新一郎 解題	10,000
03215	倭訓栞 Y28000 E	三澤薫生 編著	28,000
03216	江戸・東京語研究 共通語への Y12500 E	土屋信一 著	12,500
03219	『文字のしるべ』影印・研究 Y28000 E	岡墻裕剛 編著	28,000
08001	本朝麗藻総索引 Y9709E	柳沢良一 編	9,709
10011	紫式部日記語彙用例総索引 Y19000E	今西祐一郎・上田英代・村上征勝 編	19,000
10003	源氏物語語彙用例総索引 付属 Y128000E	上田英代・村上征勝・今西祐一郎・樺島忠夫・上田裕一・藤田真理	128,000
10004	平家物語高野本語彙 自立語篇 Y89000E	近藤政美・武山隆昭・近藤三佐子 編	89,000
10026	平家物語高野本語彙 付属語篇 Y79000E	近藤政美・武山隆昭・池村奈代美・濱千代いづみ・近藤三佐子 編	79,000
10033	長門本平家物語の総合 第一巻 Y29000E	麻原美子・名波弘彰 編	29,000
10034	長門本平家物語の総合 第二巻 Y27000E	麻原美子 編	27,000
10061	長門本 平家物語の総合研究 第三巻論究篇	麻原美子・犬井善寿 編	30,000
10441	長門本平家物語自立語索引 Y29000E	小川栄一・麻原美子・大倉浩・佐藤智広・小井土守敏 編	29,000
03113	長門本 平家物語 一	麻原美子・小井土守敏・佐藤智広 編	2,500
03114	長門本 平家物語 二	麻原美子・小井土守敏・佐藤智広 編	2,500
03115	長門本 平家物語 三	麻原美子・小井土守敏・佐藤智広 共編	2,500
03116	長門本 平家物語 四	麻原美子・小井土守敏・佐藤智広 編	2,500
01003	延慶本 平家物語 本文篇	北原保雄・小川栄一 編	25,000
10438	延慶本平家物語の日本語史的研Y16500E	小川栄一 著	16,500
10449	平家物語長門本延慶本対照本 Y44300	麻原美子・佐藤智広・小川栄一・小井土守敏・大倉浩 編	44,300
10043	天草版平家物語語彙用例総索引 Y80000E	近藤政美・池村奈代美・濱千代いづみ 編	80,000
10008	徒然草古注釈集成 Y31068E	吉澤貞人 編著	31,068
10010	白氏文集本文の研究 Y63000E	太田次男 著	63,000
10013	狂言記 外五十番の研究 Y32000E	北原保雄・大倉浩 著	32,000
10014	中世興福寺維摩会の研究 Y11000E	高山有紀 著	11,000
10017	土井本太平記本文及び語彙索引 Y92000E		92,000
10027	守覚法親王と仁和寺御 仁和寺蔵Y42000E	阿部泰郎・山崎誠 編	42,000
10031	『塵袋』とその研究 Y37000E	山崎誠 編	37,000
10063	新編西鶴全集第一巻・索引 Y86000E	新編西鶴全集編集委員会 編	86,000
10086	新編西鶴全集第二巻・索引 Y117000E	新編西鶴全集編集委員会 編	117,000
10087	新編西鶴全集第三巻・索引 Y86000E	新編西鶴全集編集委員会 編	86,000
10093	新編西鶴全集第四巻・索引 Y85000E	新編西鶴全集編集委員会 編	85,000
10434	新編西鶴全集第五巻・索引 Y90000E	新編西鶴全集編集委員会 編	90,000
10075	守覚法親王と仁和寺御 金沢文庫Y17600E	阿部泰郎・山崎誠・福島金治 編	17,600
10082	売立目録の書誌と全国所在一覧 Y40000E	都守淳夫 編著	40,000
10091	日本詩紀 本文と総索引 Y72000E	高島要 編	72,000
10097	日本音声学研究 Y20000E	城生伯太郎 著	20,000

残1

品切

在庫僅少本リスト

10431	東瀛詩選本文と総索引	Y117000E	高島要 編	117,000	
10440	関流和算書大成	Y103000E	東アジア数学史研究会 編/岡本和夫 代表 (川原秀城/渡辺純成/佐藤賢一/安 大玉)	103,000	
10445	関流和算書大成 第二期	Y170000E	東アジア数学史研究会 編/岡本和夫 代表 (川原秀城/渡辺純成/佐藤賢一)	170,000	残1
10446	関流和算書大成 第三期	Y90000E	東アジア数学史研究会 編/岡本和夫 代表 (川原秀城/渡辺純成/佐藤賢一/安大玉)	90,000	残1
10448	校訂 京大本 太平記	Y49500E	小秋元段・北村昌幸・長坂成行・和田琢磨 編	49,500	
10450	院政時代文章様式史論考	Y15700E	船城俊太郎 著	15,700	
10451	漢文訓読と近代日本語の形成	Y7500E	齋藤文俊 著	7,500	
20011	江戸のイラスト辞典 訓蒙図彙	Y15000E	小林祥次郎 編	15,000	
20014	日葡辞書	Y100000E	オックスフォード大学ボードレイアン図書館 所蔵/月本雅幸 解	100,000	
21211	天野山金剛寺善本叢刊 第一期	Y32000E	後藤昭雄 監修/(第一巻)後藤昭雄・仁木夏実・中川真弓 編/(第二巻)荒木浩・近本謙介 編	32,000	
21212	天野山金剛寺善本叢刊 第二期	Y37000E	後藤昭雄 監修(第三巻)中原香苗・米田真理子 編/(第四巻)箕浦尚美 編/(第五巻)赤尾栄慶・宇都宮啓吾・海野圭介	37,000	
22071	国宝 岩崎本 日本書紀	Y35000E	京都国立博物館 編/石塚晴通・赤尾栄慶 解題	35,000	
22072	国宝 吉田本 日本書紀	Y100000E	京都国立博物館 編/石塚晴通・羽田聡 解題	100,000	
22073	国宝 浄名玄論	Y100000E	京都国立博物館 編/石塚晴通・赤尾栄慶 解題	100,000	
22500	枝葉抄 影印・翻刻・註解	Y20000E	総本山醍醐寺 編	20,000	
27049	国宝 小川本 真草千字文	Y25000E	小川雅人 原本所蔵/石塚晴通・赤尾栄慶 編	25,000	
28011	日本語史の新視点と現代日本語	Y13000E	小林賢次・小林千草 編	13,000	
28012	近世儒学韻学と唐音	Y9800E	湯沢質幸 著	9,800	
28014	近代日本語と文語文	Y2500E	三浦勝也 著	2,500	
28016	日本語の談話におけるポーズの研究	Y6800E	高村めぐみ 著	6,800	
28017	字様の研究	Y9800E	西原一幸 著	9,800	
28018	仏教からはみだした日常語	Y1800E	小林祥次郎 著	1,800	
28019	西來寺蔵仮名書き法華経対照索引	Y35300E	萩原義雄 編	35,300	
28022	日本古典漢語語彙集成	Y75000E	柏谷嘉弘・霧岡昭夫 編	75,000	
28023	『色葉字類抄』の研究	Y15000E	藤本灯 著	15,000	
28031	韓国語慶尚道諸方言のアクセント研究	Y6000E	姜英淑 著	6,000	残2
28032	山田孝雄著『日本文体の変遷』本文と解説		藤本灯・田中草大・北崎勇帆 編	4,500	
28033	日本語程度副詞体系の変遷	Y6000E		6,000	品切
28036	西來寺本 仮名書き法華経 原色影印	Y38000E	萩原義雄 編	38,000	
28037	今昔物語集の構文研究	Y10000E	高橋敬一 著	10,000	
28039	シベ語のモダリティの研究	Y12000E	児倉徳和 著	12,000	
28041	江戸・東京語の否定表現構造の研究	Y7800E	許哲 著	7,800	
28042	国宝 称名寺聖教 湛睿説草	Y16000E	納富常天 著	16,000	
28044	秋萩帖の総合的研究	Y10000E	今野真二 編	10,000	
28046	国宝 漢書楊雄伝 第五十七	Y35000E	京都国立博物館 原本所蔵・編/石塚晴通・上杉智英・小助川貞	35,000	
28048	日本書紀声点本の研究	Y14000E	鈴木豊 著	14,000	
28051	童謡・わらべうたの言葉とところ	Y1800E	若井勲夫 著	1,800	
28201	国宝 史記 夏本紀 秦本紀	Y25000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/石塚晴通・小助川貞次 解題	25,000	
28202	重文 ドチリーナ・キリシタン 天草版		公益財団法人 東洋文庫 監修/豊島正之 解説	14,000	
28203	重文 染善録 宋版・円爾旧蔵	Y70000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/會谷佳光 解題	70,000	
28204	サクラメンタ提要 長崎版	Y57000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/豊島正之 解説	57,000	
28205	国宝 毛詩/重文 礼記正義	Y26000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/石塚晴通・小助川貞次・會谷佳光	26,000	
28206	梵語千字文/胎蔵界真言	Y25000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/石塚晴通・小助川貞次 解題	25,000	
28207	国宝 古文尚書/重文 古文尚書	Y40000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/石塚晴通・小助川貞次 解題	40,000	
28208	聖教精華 FLOSCVLI	Y52000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/豊島正之 解説	52,000	
28209	国宝春秋経伝集解/重文論語集解	Y29000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/石塚晴通・小助川貞次 解題	29,000	
28210	天正十八年本 節用集	Y38000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/豊島正之 解題	38,000	
28211	重文 論語集解 正和四年写	Y98000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/石塚晴通・小助川貞次 解題	98,000	
28212	東洋文庫善本叢書12 国宝 文選集注	Y98000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/石塚晴通・小助川貞次 解題	98,000	
28221	東洋文庫善本叢書 第二期 1 ㊦㊧ ㊨ ㊩	Y140000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/平川祐弘 解題	140,000	
28222	東洋文庫善本叢書 第二期 2 東方見聞録		公益財団法人 東洋文庫 監修/斯波義信 解題	25,000	
28223	重要文化財 ジョ・セリス 『日本渡航記』	Y40000E	公益財団法人 東洋文庫 監修/平野健一郎 解題	40,000	
28505	国宝 西大寺本 金光明最勝王経	Y100000E	総本山西大寺 編/佐伯俊源・月本雅幸・野尻忠 解題	100,000	
29026	那波本 白氏文集	Y61905	下定雅弘・神鷹徳治 編	61,905	残1
29043	百物語全注釈	Y25000E	小川武彦 著	25,000	
29060	鳳岡林先生全集	Y84000E	徳田武 編	84,000	
29095	対釈新撰万葉集	Y23000E	半澤幹一・津田潔 著	23,000	

在庫僅少本リスト

29158	中世古今和歌集注釈の世界 Y13000E	人間文化研究機構 国文学研究資料館 編	13,000	
29172	平安時代における変体漢文の研究 Y8000E	田中草大 著	8,000	
29027	平安朝漢文学史論考 Y 7000 E	後藤昭雄 著	7,000	
10077	アルタイ語対照研究 Y27000E	城生佰太郎 著	27,000	残1
28009	朝鮮語ソウル方言の韻律構造と Y6800E	宇都木昭 著	6,800	残2
03259	倭名類聚抄諸本の研究 Y12000E	宮澤俊雅 著	12,000	残2
28038	連濁の総合的研究 Y10000E		10,000	品切
00671	玄玖本太平記(1) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	10,000	残1
00672	玄玖本太平記(2) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	10,000	残0
00673	玄玖本太平記(3) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	10,000	残1
00674	玄玖本太平記(4) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	10,000	残1
00675	玄玖本太平記(5) Y10000E	前田育徳会尊経閣文庫 編	10,000	残1
03060	古代日本研究文献総合目録筆者別目録明治元年～平成十年三月	平田耿二 編	38,000	
03181	『菅家文草』明暦二年写 藤井懶斎自筆奥書本 石川県立図書館蔵川口文庫善本影印叢書1	柳澤良一 編	12,000	
08001	本朝麗藻総索引	柳澤良一 編	9,709	
03232	文化財と古文書学筆跡論	湯山賢一 編	3,600	
03240	源氏物語 梅枝・紅葉賀甲南女子大学蔵鎌倉時代古写本	米田明美 解説	18,000	
03241	伊勢物語 坊所鍋島家本	国文学研究資料館 監修	15,000	
03251	中世書写論俊成・定家の書写と社会	家入博徳 著	12,000	残1
06066	日本古典博物事典 動物篇	小林祥次郎 著	9,500	
08010	京阪系アクセント辞典 データCD-ROM	中井幸比古 開発・製作	10,000	
10016	住吉物語の基礎的研究	武山隆昭 著	23,000	残1
10020	平安末期物語攷	中西健治 著	11,000	
10036	中世古典学の書誌学的研究	武井和人 著	19,600	
10060	正治百首の研究	山崎桂子 著	18,000	残1
10088	大乗院寺社雑事記紙背文書 第一巻	佐藤進一・笠松宏至・永村眞 編	9,800	
03132	大乗院寺社雑事記紙背文書2 Y10600E	佐藤進一・笠松宏至・永村眞 編	10,600	
10084	うつほ物語の総合研究 2古注釈編 1	室城秀之・西端幸雄ほか 編	19,000	
10433	日本仏教説話集の源流	小林保治・李銘敬 著	40,000	
20068	近代人文学はいかに形成されたか学知・翻訳・蔵	基野尚志・河野貴美子・陣野英則 編	8,000	
21025	仏教文明の転回と表現文字・言語・造形と思想	新川登亀男 編	9,800	
21026	仏教文明と世俗秩序国家・社会・聖地の形成	新川登亀男 編	9,800	
21035	清代学術と言語学古音学の思想と系譜	木下鉄矢 著/池田秀三 序/川原秀城 後記	7,000	残1
21039	醍醐寺文書聖教目録 第四卷第六一函～第八〇函 醍醐寺叢書 目録篇4	総本山醍醐寺 編	30,000	
21040	深草元政『草山集』を読む近世初期学僧のことば	元政庵瑞光寺 川口智康 編	4,800	
22014	日本庭園学の源流『作庭記』における日本語研究 影印対照翻刻・現代語訳・語の注解	萩原義雄 著	12,000	残1
22230	隠れキリシタンの布教用ノート 吉利支丹抄物影印・翻刻・現代語訳	大塚英二 編	10,000	残1
28010	かかりむすび考	船城俊太郎 著	9,800	残1
28006	日本語教育の語彙	城生佰太郎 著	1,800	残1
28013	人名ではない人名録語源探索	小林祥次郎 著	1,800	
28035	日本語のなかの中国故事知っておきたい二百四十	小林祥次郎 著	4,200	
29010	謡曲画誌影印・翻刻・訳註	小林保治・石黒吉次郎 編	15,000	
29021	後京極殿御自歌合・慈鎮和尚自歌合 全注釈	石川一・広島和歌文学研究会 編	10,000	
29036	東アジアの漢籍遺産奈良を中心として	河野貴美子・王勇 編	8,000	
29047	源氏物語 榊原本 国文学研究資料館影印叢書4	国文学研究資料館 編/今西祐一郎 序文/池田和臣 解題	75,000	
29064	鶴飼文庫 蜻蛉日記 阿波国文庫本 国文学研究資料館影印叢書5	国文学研究資料館 編/今西祐一郎 序/福家俊幸 解題	25,000	
29109	吉嗣拜山年譜考證	長尾直茂 著	10,000	
29120	源氏物語論女房・書かれた言葉・引用	陣野英則 著	8,000	
29441	杜甫研究年報 創刊号	日本杜甫学会 編	2,000	残1
39012	和漢朗詠集とその享受 増訂新版	三木雅博 著	15,000	
03067	醍醐寺文書聖教目録 第一巻第一函～第二〇函	総本山醍醐寺 編	20,000	
03096	醍醐寺文書聖教目録 第六巻第一〇一函～第一三	総本山醍醐寺 編	20,000	
03142	醍醐寺文書聖教目録 第二巻第二一函～第四〇函	総本山醍醐寺 編	20,000	
03199	醍醐寺文書聖教目録 第三巻第四一函～第六〇函	総本山醍醐寺 編	30,000	

在庫僅少本リスト

10044	冥報記の研究 第一巻	説話研究会 編	27,400
10064	冥報記の研究 第二巻	説話研究会 編	18,800
01135	水門 第二十一号 追悼 藏中進先生言葉と歴史	水門の会 編	3,000
01136	水門 第二十二号言葉と歴史	水門の会 編	3,500
01137	水門 第二十三号言葉と歴史	水門の会 編	4,000
01138	水門 第二十四号言葉と歴史	水門の会 編	3,200
01139	水門 第二十五号言葉と歴史	水門の会 編	3,200
01140	水門 第二十六号言葉と歴史	水門の会 編	3,000
22441	水門 第二十七号言葉と歴史	水門の会 編	2,800
22442	水門 第二十八号言葉と歴史	水門の会 編	3,500
22443	水門 第二十九号言葉と歴史	水門の会 編	3,500
32461	水門 第三十号言葉と歴史	水門の会 編	3,000
32462	水門 第三十一号	水門の会 編	3,500
05367	本朝文粹抄	後藤昭雄 著	2,800
05407	本朝文粹抄 二	後藤昭雄 著	2,800
29221	本朝文粹抄 三	後藤昭雄 著	2,800
29222	本朝文粹抄 四	後藤昭雄 著	2,800
29223	本朝文粹抄 五	後藤昭雄 著	2,800
29224	本朝文粹抄 六	後藤昭雄 著	3,200
07086	白居易研究年報 第八号	太田次男ほか 編	5,000
07093	白居易研究年報 第15号特集 先蹤と継承	白居易研究会 編	4,200
07097	白居易研究年報 第19号特集 伝奇と説話	白居易研究会 編	4,800
07098	白居易研究年報 最終号特集 歌舞音曲 附 日 本国内白居易研究文献解題目録	白居易研究会 編	9,000

残1

残1